

事務事業評価シート

記載年月	令和2年9月
対象年度	平成31年度

1 事務事業の概要

事務事業名	民有緑地保全支援事業			事務事業コード	20280100
概要	良好な自然環境の保護又は美観風致を維持するため、一定基準を満たす樹木等の保存を奨励する				
総合計画	基本施策	2	緑の整備	主管部課名	生活環境部 環境政策課
	施策	28	緑のまちづくりの推進	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市自然環境の保全及び育成に関する条例				
市関連事業					
対象	市民、神社、仏閣及び私立学校の所有者又は管理者				
実施の背景	緑の保護及び育成を目的に、樹木の剪定、消毒及び枯損の防止など樹木の維持管理に係る緑化費用の一部を補助することにより、緑ゆたかなまちづくりを推進する。				
事業目標	地域にある貴重な緑として維持できるよう現状を把握し、樹木の適正な維持管理に努める。				
事業内容	指定基準を満たした樹木及び樹林地について、これらの保護を奨励するための奨励金を交付する。				

2 事業計画・評価

H30年度実績 (Do)	H30年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼保存樹木 指定本数2,091本 ▼保存樹林 面積829.46㎡	市内民有地にある貴重な樹木の維持、保全に貢献した。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H30年度評価に基づく見直し (Action)

H31年度の具体的な取組 (Plan)	H31年度の方向性 (Plan)	
指定している樹木に対し、奨励金を交付する。	身近な自然環境を保全する必要があることから、事業を継続していく。一方で、維持管理の困難になっている樹木もあり、樹勢の衰えた樹木が優れた樹形を保つための剪定や施肥による地力回復、病虫害対策などに関して、助言や指導の機会を提供する仕組みづくりなどについても検討していく。	
H31年度実績 (Do)	H31年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼保存樹木 指定本数2,076本 ▼保存樹林 面積829.46㎡	市内民有地にある貴重な樹木の維持、保全に貢献した。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H31年度評価に基づく見直し (Action)

R 2年度の具体的な取組 (Plan)	R 2年度の方向性 (Plan)	
指定している樹木に対し、奨励金を交付する。	身近な自然環境を保全する必要があることから、事業を継続していく。一方で、維持管理の困難になっている樹木もあり、樹勢の衰えた樹木が優れた樹形を保つための剪定や施肥による地力回復、病虫害対策などに関して、助言や指導の機会を提供する仕組みづくりなどについても検討していく。	

令和 3年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	樹木の保全に一定の貢献を果たしていると認識しているため、継続していく。一方で、維持管理の困難になっている樹木もあり、樹勢の衰えた樹木が優れた樹形を保つための剪定や施肥による地力回復、病虫害対策などに関して、助言や指導の機会を提供する仕組みづくりなどについても検討していく必要がある。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度		
保存樹木の指定	1,942	計画 当初値	2,000	2,000	2,000	2,000	保存樹木の指定は、目標値を越えている。また、保存樹林の指定面積については、平成19年度以降面積が変わっておらず、今後も増える見込みが無い。
		計画 補正值	-	0	-	-	
	本 実績	2,091	2,076	-	-	-	
保存樹林の指定	984	計画 当初値	829.46	829.46	829.46	829.46	
		計画 補正值	-	0	-	-	
	m ² 実績	829.46	829.46	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	6,490,000	6,555,000	6,543,000	6,448,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,490,000	6,555,000	6,543,000	6,448,000	0	0
予算現額	6,490,000	6,555,000	6,543,000	0	0	0
決算額	6,288,925	6,300,100	6,240,100	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,288,925	6,300,100	6,240,100	0	0	0
執行率	96.9%	96.1%	95.4%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.61	0.61	0.61			
職員人件費	4,685,791	4,797,056	4,899,493			
嘱託員数	0	0	0			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	44,312	40,689	55,597			
総コスト	11,019,028	11,137,845	11,195,190	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

<p>これまでの主な取組と成果</p> <p>市内民有地にある貴重な樹木を残すために管理費の一部を所有者に助成し、樹木や樹林の保護・育成を支援した。約2,000本の樹木を指定している。</p>
<p>今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）</p> <p>維持管理の困難になっている樹木もあり、樹勢の衰えた樹木が優れた樹形を保つための剪定や施肥による地力回復、病虫害対策などに関して、助言や指導の機会を提供する仕組みづくりなどについても検討していく必要がある。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

行	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H31年度		R 2年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	25	1131000	補助金 樹木保存事業費	6,543,000	6,240,100	6,448,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							6,543,000	6,240,100	6,448,000

事務事業評価シート

記載年月	令和2年9月
対象年度	平成31年度

1 事務事業の概要

事務事業名	まちかど空間緑化推進事業			事務事業コード	20280200
概要	公共花壇の適切な維持管理及び市民花壇への花苗の提供				
総合計画	基本施策	2	緑の整備	主管部課名	都市整備部 公園緑地課
	施策	28	緑のまちづくりの推進	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	都市公園法、都市緑地法				
市関連事業	府中市緑の基本計画2009				
対象	市民				
実施の背景	公園などのまとまった空間確保が困難な市街地においては、まちかどの小スペースを有効に活用した緑が生まれ、公共・市民花壇が市内に設置され、季節に応じた草花が市民の目を楽しませている。				
事業目標	まち全体の緑の個性と豊かさを育み、だれもが緑を楽しめる空間として、市民・公共花壇など「地域の庭」としてのまちかど空間緑化の普及を推進し、市民の緑に対する意識をより高める。				
事業内容	市民の協力を得ながら、緑が少ない地域などへの優先性を考慮した市民花壇の増設を進めるとともに、適切な維持管理を促します。また、市民が主体となった設置や維持管理などの緑化活動を支援するため、多様な草花の種子や苗、球根や肥料の提供、手入れの技術の講習などを行う。緑が少ない地域などへの優先性を考慮しつつ、公共花壇を公園や公共施設、道路などへ増設を進めるとともに、適切な維持管理に努める。花壇の設置に際しては、地域性を踏まえ、特色のある草花の植栽を行い、多くの人に親しまれる空間として、地域住民や事業者が主体となった維持管理を促進する。				

2 事業計画・評価

H30年度実績 (Do)	H30年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>◇公共花壇：47か所にサルビア・葉ボタンなどを植付するほか、市役所・府中本町駅・多磨駅に植付を行なった。</p> <p>◇市民花壇：36か所の花壇（32団体）に対し年1回の講習会やサルビア・パンジーの苗、スカシユリの球根の配布を行なった。</p>	<p>◇公共花壇・市民花壇とも、地域の特性を生かし季節に応じた草花を植付け、地域の庭としての緑化を推進した。</p> <p>◇適切な維持管理において、各地域での市民や事業者との協働による活動が行われた。</p> <p>◇多くの人に親しまれる空間として、質の向上にも取り組んだ。</p>	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H30年度評価に基づく見直し (Action)

H31年度の具体的な取組 (Plan)	H31年度の方向性 (Plan)
<p>◇公共花壇：47か所にサルビア・葉ボタンなどを植付するほか、市役所・府中本町駅・多磨駅に植付を行う。</p> <p>◇市民花壇：36か所の花壇（32団体）に対し年1回の講習会やサルビア・パンジーの苗、スカシユリの球根の配布を行う。</p>	<p>◇公共花壇・市民花壇とも、地域の特性を生かし季節に応じた草花を植付け、地域の庭としての緑化を推進する。</p> <p>◇適切な維持管理において、各地域での市民や事業者との協働による活動をより発展させる。</p> <p>◇多くの人に親しまれる空間として、質の向上にも取り組んでいく。</p>

H31年度実績 (Do)	H31年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>◇公共花壇：47か所にサルビア・葉ボタンなどを植付するほか、市役所・府中本町駅・多磨駅に植付を行った。</p> <p>◇市民花壇：36か所の花壇（32団体）に対し年1回の講習会やサルビア・パンジーの苗、スカシユリの球根の配布を行った。</p>	<p>◇公共花壇・市民花壇とも、地域の特性を生かし季節に応じた草花を植付け、地域の庭としての緑化を推進した。</p> <p>◇適切な維持管理において、各地域での市民や事業者との協働による活動が行われた。</p> <p>◇多くの人に親しまれる空間として、質の向上にも取り組んだ。</p>	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H31年度評価に基づく見直し (Action)

R2年度の具体的な取組 (Plan)	R2年度の方向性 (Plan)
<p>◇公共花壇：32か所にサルビア・葉ボタンなどを植付するほか、市役所・多磨駅に植付を行う。</p> <p>◇市民花壇：34か所の花壇（30団体）に対し年1回の講習会やサルビア・パンジーの苗、スカシユリの球根の配布を行う。</p>	<p>◇公共花壇・市民花壇とも、地域の特性を生かし季節に応じた草花を植付け、地域の庭としての緑化を推進する。</p> <p>◇適切な維持管理において、各地域での市民や事業者との協働による活動をより発展させる。</p> <p>◇多くの人に親しまれる空間として、質の向上にも取り組んでいく。</p>

令和3年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	市民の生活スタイルの変化や価値観の多様化が進み、より質の高い空間の確保が求められているため、植生や回数を工夫し、「量」から「質」へ転換を図る。個性豊かな緑のまちづくりを進めるためには、「地域の庭」である市民花壇や公共花壇などのまちかどの緑化や「個人の庭」の一般公開などを「パブリックガーデン」として体系化し、その普及を推進する。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度		
市の面積に対する緑地の割合	24.7	計画 当初値	24.6	24.6	24.5	24.5	24.5	新設された公園・緑地がなく、緑のまちづくりの一環である、生産緑地も減少傾向にあることから、市内の緑地面積が減少している。
		計画 補正值	-	-	-	-	令和 3年度	
	%	実績	24.4	-	-	-	-	
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	1
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	2
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	11,924,000	11,904,000	11,895,000	10,902,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	11,924,000	11,904,000	11,895,000	10,902,000	0	0
予算現額	11,904,000	11,904,000	11,719,000	0	0	0
決算額	11,336,255	11,755,046	11,667,227	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	11,336,255	11,755,046	11,667,227	0	0	0
執行率	95.2%	98.7%	99.6%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.10	1.10	1.10			
職員人件費	8,449,786	8,650,430	8,835,151			
嘱託員数	0.2	0.2	0			
嘱託員人件費	624,080	625,177	0			
(間接経費)						
間接経費	394,260	311,491	247,264			
総コスト	20,804,381	21,342,144	20,749,642	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<p>緑化の余地に限られた市街地では、いかに緑化を図っていくかが重要となる。これまでもスポットパークの整備や、市民の協力による花壇の設置など、まちがどの緑化を進めた。</p> <p>まちかどに良好な環境をつくり出す、スポットパーク55か所の設置。→34か所 (H31)</p> <p>公共の場を彩る、公共花壇56か所の設置。→50か所 (H31)</p> <p>地元住民による、市民花壇45か所の維持管理。→34か所 (H31)</p>
今後の課題・展開 (未達成の課題・具体的な方策等)
<p>都市化が進展するなか、緑が減少傾向にあることから、法制度等を適切に運用するほか、市民活動の効果的な支援のあり方を検討し、緑の保全を図る必要がある。</p> <p>令和元年度に策定した「府中市緑の基本計画2020」では、緑の質の向上に比重が置かれ、より質の高い緑の空間づくりを進める必要がある。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H31年度		R 2年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	20	1124000	公共花壇運営費	11,000,000	10,824,000	10,000,000
2	01	40	15	25	1123000	市民花壇運営費	895,000	843,227	902,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							11,895,000	11,667,227	10,902,000

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度		
公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度	69.9	計画 当初値	70	71	72	73	市民意識調査の結果としては、高い水準を維持しており、重要度を含め、緑の整備に対する関心が高いことが伺えることから、市民協働によるボランティア制度を拡充し、公園・緑地等に対しより親しみをもち、満足度の向上を図りたい。
		計画 補正值	-	-	-	-	
	%	実績	73	-	-	-	
	-	計画 当初値	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	2
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	605,405,000	650,231,000	881,835,000	856,047,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	14,773,000	16,579,000	26,587,000	32,388,000	0	0
一般財源	590,632,000	633,652,000	855,248,000	823,659,000	0	0
予算現額	606,494,000	781,726,000	929,204,000	0	0	0
決算額	573,367,112	772,856,617	927,257,695	0	0	0
国庫支出金	0	0	3,448,000	0	0	0
都支出金	0	0	10,582,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	17,185,494	16,419,835	20,856,805	0	0	0
一般財源	556,181,618	756,436,782	892,370,890	0	0	0
執行率	94.5%	98.9%	99.8%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	7.30	9.60	10.30			
職員人件費	56,075,855	75,494,659	82,729,137			
嘱託員数	0.8	0.8	1			
嘱託員人件費	2,496,320	2,500,709	3,090,923			
(間接経費)						
間接経費	2,456,545	2,491,942	2,540,078			
総コスト	634,395,832	853,343,927	1,015,617,833	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"> ◇地域の特性や安全性を考慮した公園・緑地の整備 ◇公園・緑地を安全・安心に利用できる環境づくりに向けて、市民からの意見、要望への対応 ◇公園樹木について、緑の豊かさを確保した適正な管理 ◇公園等の安全点検の実施 ◇地元自治会などによる定期的な公園施設の点検
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
公園・緑地の整備及び維持管理に際しては、利用者が安心して利用できるよう、見通しを良くする、照明の適切な配置を進めるなど、安全・安心を確保することが必要である。また、市民からの様々な苦情、意見、要望等に迅速に対応していくため、特に安全性に配慮する中で地域にあった維持管理の方法を考えていく必要がある。このため、府中市インフラ管理ボランティア制度を活用し、市民や事業者との協働による安心・安全な公園・緑地等を維持し、市民が親しみを感じることができるよう公園等の空間づくりを行っていかなければならない。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H31年度		R 2年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	05	1085250	生産緑地事務費			10,825,000
2	01	40	15	20	1103000	公園緑地等管理費 管理委託料	731,472,000	738,630,162	721,374,000
3	01	40	15	20	1104000	公園緑地等管理費 光熱水費	28,937,000	23,329,288	25,045,000
4	01	40	15	20	1105000	公園緑地等管理費 諸経費	111,944,000	156,204,715	98,692,000
5	01	40	15	20	1106000	管理用車両購入費	9,482,000	9,093,530	
6	01	40	15	20	1136650	公園等施設活用協議会運営費			111,000
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							881,835,000	927,257,695	856,047,000

事務事業評価シート

記載年月	令和2年9月
対象年度	平成31年度

1 事務事業の概要

事務事業名	公園緑地等整備事業			事務事業コード	20280500
概要	既存の公園等を生かし、水と緑のネットワークの形成を中心とした整備を進める				
総合計画	基本施策	2	緑の整備	主管部課名	都市整備部 公園緑地課
	施策	28	緑のまちづくりの推進	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	都市公園法、都市緑地法				
市関連事業	府中市緑の基本計画2009				
対象	市民				
実施の背景	公園等の配置状況は、住宅市街地の多くが、身近な公園の圏域とされる半径250m内に含まれており、1人当たりの都市公園面積は、人口増加により伸び悩んでいるが、周辺都市より高く、量的な充足している。				
事業目標	既存の公園等を生かし、水と緑のネットワークの形成を中心とした整備を進めることで、緑の将来像の実現を目指します。				
事業内容	水と緑のネットワーク形成方針に基づき、市の核となる公園は「緑の中核的な拠点」として、地域の核となる公園は「地域における緑の拠点」として、緑道等は「水と緑のネットワークゾーン」として優先的に整備を行う。また、歩いて行ける公園等の整備として、身近な公園の圏域とされる半径250m内に都市公園の整備を引き続き進めていくものとし、都市公園の整備が困難な場合は、安定的な利用が可能な条例等の公園整備を行う。				

2 事業計画・評価

H30年度実績 (Do)	H30年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ◇塗装、ベンチ補修、遊具設置・取替、公園・緑道整備、ハス池整備の各種工事 ◇四谷さくら公園拡張整備工事 ◇公園施設長寿命化計画策定委託 ◇測量設計委託 	<ul style="list-style-type: none"> ◇施設の充実、適切な維持管理など、安心安全な公園作りを行う。 ◇第1期の四谷さくら公園拡張整備工事を行う。 ◇3年計画の最終年として、50公園の公園施設長寿命化計画を策定する。 	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H30年度評価に基づく見直し (Action)

H31年度の具体的な取組 (Plan)	H31年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ◇塗装、ベンチ補修、遊具設置・取替、公園・緑道整備、ハス池整備の各種工事 ◇四谷さくら公園拡張整備工事 ◇公園施設長寿命化計画に基づく遊具等の更新 ◇測量設計委託 	<ul style="list-style-type: none"> ◇施設の充実、適切な維持管理など、安心安全な公園作りを行う。 ◇第2期の四谷さくら公園拡張整備工事を行う。 ◇公園施設長寿命化計画に基づき遊具等の更新を行う。

H31年度実績 (Do)	H31年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ◇塗装、ベンチ補修、遊具設置・取替、公園・緑道整備、ハス池整備の各種工事 ◇四谷さくら公園拡張整備工事 ◇公園施設長寿命化計画に基づく遊具等の更新 ◇測量設計委託 	<ul style="list-style-type: none"> ◇施設の充実、適切な維持管理など、安心安全な公園作りを行った。 ◇第2期の四谷さくら公園拡張整備工事を行った。 ◇公園施設長寿命化計画に基づき遊具等の更新を行った。 	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H31年度評価に基づく見直し (Action)

R2年度の具体的な取組 (Plan)	R2年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ◇塗装、ベンチ補修、公園・緑道整備 ◇公園施設長寿命化計画に基づく遊具等の更新 ◇測量設計委託 	<ul style="list-style-type: none"> ◇施設の充実、適切な維持管理など、安心安全な公園作りを行う。 ◇公園施設長寿命化計画に基づき遊具等の更新を行う。

令和3年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	緑の基本計画2020や公園施設長寿命化計画に基づき、施設の充実や適切な維持管理など、安心安全な公園づくりを推進していく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度		
市民1人当たりの都市公園 面積	7.04	計画 当初値	6.93	6.94	6.94	6.95	身近に利用できる公園として、圏域とされる半径約250メートル内に適切に配置することを基本として、概ね適切に配置されている。
		計画 補正值	-	-	-	-	
	m ² /人	実績	6.9	6.91	-	-	
	-	計画 当初値	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	1
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	117,825,000	293,165,000	468,274,000	400,365,000	0	0
国庫支出金	10,000,000	56,500,000	60,000,000	1,500,000	0	0
都支出金	0	25,000,000	15,000,000	0	0	0
市債	0	0	67,000,000	0	0	0
その他	0	0	0	259,000,000	0	0
一般財源	107,825,000	211,665,000	326,274,000	139,865,000	0	0
予算現額	134,819,000	302,528,000	449,693,000	0	0	0
決算額	119,550,758	286,874,821	448,690,298	0	0	0
国庫支出金	5,000,000	36,000,000	39,500,000	0	0	0
都支出金	0	16,033,000	18,600,000	0	0	0
市債	0	0	58,700,000	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	114,550,758	234,841,821	331,890,298	0	0	0
執行率	88.7%	94.8%	99.8%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	3.60	4.00	5.10			
職員人件費	27,653,846	31,456,108	40,962,971			
嘱託員数	0	0	0			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	1,091,797	958,432	1,146,406			
総コスト	148,296,401	319,289,361	490,799,675	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
公園等の配置状況は、住宅市街地の多くが、歩いて行ける身近な公園の圏域とされる半径250m内に含まれており、1人当たりの都市公園面積は、周辺都市と比較すると高く、量的には充足している。既存の公園等を生かし、水と緑のネットワークの形成を中心とした整備を進めることで、緑の将来像の実現を目指し、水と緑のネットワーク形成方針に基づき、市の核となる公園は「緑の中核的な拠点」として、地域の核となる公園は「地域における緑の拠点」として、緑道等は「水と緑のネットワークゾーン」として優先的に整備を行った。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
水と緑のネットワークの形成を基本的な考え方とした整備を進めるとともに、災害時や地域活動など多角的に活用できるようにするため、機能の充実に努める必要がある。また、誰もが親しむことができる公園とするため、市民や事業者とともに公園づくりに取り組んでいく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H31年度		R 2年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	20	1107000	負担金 日本公園緑地協会	85,000	85,000	
2	01	40	15	20	1111990	公園緑地等整備事業費 設計委託料			51,000,000
3	01	40	15	20	1112010	公園緑地等整備事業費 整備工事費	441,520,000	425,217,300	333,900,000
4	01	40	15	20	1112030	公園緑地等整備事業費 測量設計委託料	5,000,000	4,782,562	5,000,000
5	01	40	15	20	1113500	公園灯LED化整備等事業費 設置等委託費(債務負担行為解消分)	8,289,000	8,288,142	8,365,000
6	01	40	15	20	1117000	公園緑地等整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
7	01	40	15	20	1124500	公園等事業用地管理費	2,180,000	747,294	1,100,000
8	01	40	15	20	1136300	公園施設長寿命化計画策定費	10,200,000	9,570,000	
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							468,274,000	448,690,298	400,365,000

事務事業評価シート

記載年月	令和2年9月
対象年度	平成31年度

1 事務事業の概要

事務事業名	緑の基本計画策定事業			事務事業コード	20280600
概要	緑のまちづくりを推進するための指針となる基本計画を策定する				
総合計画	基本施策	2	緑の整備	主管部課名	都市整備部 公園緑地課
	施策	28	緑のまちづくりの推進	事業類型	法定事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成28年度～	見直しの裁量
根拠法令等	都市緑地法第4条				
市関連事業	府中市総合計画、府中市都市計画マスタープラン				
対象	全市民				
実施の背景	現行計画の目標年次である平成30年度を控え、この間の社会経済情勢や自然環境等の変化及び法制度の変更により、新しい視点による「緑の将来像」を描く必要があることから、これまでの施策等の効果の検証を踏まえて計画の改定を行う。				
事業目標	平成28年度から平成30年度の3年間で、現行計画の全面改定を行い、平成31年度から平成40年度までの新たな10年に向けて、府中市の緑の保全及び整備、緑化の方向性を定める。				
事業内容	「緑の基本計画」は、都市緑地法第4条に基づき、公園・緑道などの公共施設から住宅地・商店街・工場などの民間施設の緑を含めた地域全体の「緑の将来像」を描き、この実現のために、多くの取組を体系的に位置づけた緑の総合的な計画で、第6次総合計画の「緑の整備」における「緑のまちづくり」を推進するための指針となる計画を、平成28年度から平成30年度の3年間で、現在の府中市の緑の状況を把握し、これまでの施策等の効果の検証を踏まえ、庁内・外の検討協議会での意見等を取り入れ、改訂版の「緑の基本計画」策定する。				

2 事業計画・評価

H30年度実績 (Do)	H30年度評価 (Check)	評価内容 C 見直して継続
協議会にて、改定に向けた検討・協議を行った。	改定作業に遅れが生じたため、協議会からの答申は来年度となった。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H30年度評価に基づく見直し (Action)

H31年度の具体的な取組 (Plan)	H31年度の方向性 (Plan)	
引き続き改定に向けた検討・協議を行い、協議会から市長へ答申を行う。	改定作業に遅れが生じたため、本年度中に協議会からの答申を受け、基本計画のとりまとめを行う。	
H31年度実績 (Do)	H31年度評価 (Check)	評価内容 D 休止・廃止等
改定に向けた検討・協議を行い、協議会から市長への答申を受けた。答申を踏まえ、「府中市緑の基本計画2020」を策定した。	協議会からの答申を受け、「府中市緑の基本計画2020」を策定した。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H31年度評価に基づく見直し (Action)

R2年度の具体的な取組 (Plan)	R2年度の方向性 (Plan)
計画を策定したため、事業終了。	計画を策定したため、事業終了。

令和3年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	D	計画を策定したため、事業終了。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	3	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析	
		H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度			
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することがなされないため、特に指標の設定は行わない。
		計画値	補正值	-	-	-	-	
		実績		-	-	-	-	
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	
		計画値	補正值	-	-	-	-	
		実績		-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	7,790,000	5,205,000	8,188,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,790,000	5,205,000	8,188,000	0	0	0
予算現額	7,790,000	6,626,000	8,188,000	0	0	0
決算額	7,188,400	6,452,587	8,111,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,188,400	6,452,587	8,111,000	0	0	0
執行率	92.3%	97.4%	99.1%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.30	1.30	1.50			
職員人件費	9,986,111	10,223,235	12,047,933			
嘱託員数	0	0	0			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	394,260	311,491	337,178			
総コスト	17,568,771	16,987,313	20,496,111	0	0	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
「府中市緑の基本計画」は、当初平成11年度に策定し、平成21年度に改定し「府中市緑の基本計画2009」とした。この度、現行計画の目標年次である平成30年度を控え、この間の社会経済情勢や自然環境等の変化及び法制度の変更により、新しい視点による「緑の将来像」を描く必要があることから、これまでの施策等の効果の検証を踏まえ、第6次府中市総合計画および府中市都市計画マスタープランとの整合を図り、令和元年度に「府中市緑の基本計画2020」を策定した。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
策定した計画の推進に向けて、PDCAサイクルによる進行管理に取り組む。

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H31年度		R 2年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	40	15	25	1136400	緑の基本計画策定費	7,843,000	7,843,000	
2	01	40	15	25	1136500	緑の基本計画検討協議会運営費	345,000	268,000	
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							8,188,000	8,111,000	